

# 2014(平成 26)年度 事業計画

教育・研究・医療について、引き続きその質の向上を図ること

教育・研究・医療の各側面において、社会の構造変化（国際化、少子高齢化、IT化、地球環境の変化など）に応じ、社会へのさらなる貢献ができるよう義塾のあり方を検討し、必要と考えられる変革を進めること

以上の前提として、義塾財政をさらに改善すること

- ( A ) 国内外から優秀な学生が集まる学塾を構築し、日本国内のさまざまな地域ならびに国際社会で活躍し貢献する人材の育成に努めること
- ( B ) 世界の学界をリードし、国際的な貢献のできる研究を育むため、研究体制のさらなる充実・強化を進めること
- ( C ) 大学病院の経営改革を推進するとともに、医療環境を向上・充実させ、世界に冠たる大学病院の構築を目指すこと
- ( D ) 学生、生徒、患者、教職員等の安全の確保のため、施設の改修と建て替えを推進するとともに、キャンパス環境の改善・充実に努めること。また、学生、生徒、教職員等の健康の増進を図ること
- ( E ) 教育や研究における各キャンパス間・学部間・研究科間の連携、および国内外の大学やその他の研究機関との連携の充実を図ること。そうした内外の連携を可能とする塾内インフラ整備を行い、分散と集中の両面から効率化を図ること
- ( F ) 教育・研究・医療の成果を広く世界に還元し、国際的な貢献をいっそう高めるために、必要な体制を整備すること
- ( G ) 東日本大震災後の状況を踏まえ、教育・研究・医療を通じて日本の復興に寄与するとともに、被災学生の支援に努めること

# 2014(平成 26)年度 慶應義塾における教育(1)

## 学生の留学・国際経験の機会拡充および留学生受入体制の強化

4 学期制対応科目の開講(理工学部、総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科、法務研究科) (新規)

特色ある国際教育プログラムの拡充(学部・研究科)

- ・ 商学部における国際化推進のための英語による選抜・認証型プログラム(学部 3・4 年生対象)「Global Passport Program(GPP)」の創設(新規)
- ・ 湘南藤沢キャンパスにおける国際化推進のための英語による授業体制「Global Information and Communication Technology and Governance Academic Program (GIGA プログラム)」の実施
- ・ 経済学部と Sciences Po (パリ政治学院) ル・アーブル校とのダブルディグリープログラム 学生の三田キャンパスでの受入
- ・ 「延世・香港・慶應 3 キャンパス合同東アジア研究プログラム」への(プリンストン大学、コーネル大学等)からの新規参加学生受入
- ・ 経営管理研究科における「国際単位交換プログラム(IP プログラム)」の協定校数を 36 校から 50 校に拡充
- ・ 日本人学生と留学生が共に学ぶ「慶應義塾大学短期日本学講座(KJSP)」等の短期プログラム拡充
- ・ 短期海外研修(派遣)プログラム等の拡大
- ・ 交換留学生受入カリキュラム強化のための英語による授業科目の拡充、および日本人学生留学準備、留学後のフォローアップ教育への活用(国際センター講座)

特色ある国際教育プログラムの拡充(一貫教育校)

- ・ 各一貫教育校の枠を越えて選抜した塾生を、海外名門ボーディングスクールへ1年間留学させる「慶應義塾一貫教育校派遣留学制度」の創設(新規)
- ・ 高等学校と英国ウィンブルドンの名門パブリックスクール「Kings College School」との交換留学の充実
- ・ 志木高等学校は、2011年から始まったオーストラリア「Toowoomba Grammar School」に引き続き、台湾「薇閣雙語高級中学」とも短期交換留学を実施
- ・ 湘南藤沢中等部・高等部と AMERICAN COUNCILS との連携による日米高校生の交流プログラム「TOMODACHI 米日ユース交流プログラム」を創設し新たな国際交流を展開(新規)
- ・ 普通部とルオスタリヴォリ中学校(フィンランド)との交流プログラムの継続(相互訪問、遠隔授業)

# 2014(平成 26)年度 慶應義塾における教育(2)

## グローバルに活躍するリーダーの養成、グローバル連携の強化

文部科学省 博士課程教育リーディングプログラムの継続

- ・「超成熟社会発展のサイエンス」
- ・「グローバル環境システムリーダープログラム」

文部科学省 大学の世界展開力強化事業の継続

- ・理工学研究科における「グローバルエンジニア育成のための欧州理工系大学との連携プログラム」の展開
- ・メディアデザイン研究科、Royal College of Art/Imperial College London(ロンドン)、Pratt Institute(ニューヨーク)の3拠点4大学が協働して実施するトランス・ナショナルプログラム「Global Innovation Design Program(GID)」
- ・総合政策学部、環境情報学部、理工学部、理工学研究科、政策・メディア研究科、メディアデザイン研究科における、日本・ASEAN 10大学のコンソーシアムによる「アジア新出課題解決に向けたエビデンスベースドアプローチ大学コンソーシアム」

経営管理研究科と日米独仏中伯のトップビジネススクール間のグローバルアライアンス「Council on Business and Society(CoBS)」の継続

システムデザイン・マネジメント研究科、東京大学と連携したベトナム国宇宙開発機関の人材育成および人工衛星開発事業の拡充

「CEMS, the Global Alliance in Management Education」と慶應義塾が実施するCEMS MIM(CEMS Master's in International Management)の継続的活用

シンクタンク「Global Public Policy Institute(GPPi)」が実施する主要5カ国(日米独中印)のヤングプロフェッショナルによる政策対話「Global Governance Futures 2025(GGF2025)」への運営協力(新規)

○薬学部と米国およびタイ王国との学生相互交流協定の継続

- ・米国およびタイの提携大学における、薬学部薬学科6年次生の「海外アドバンスト病院実習」プログラムの継続
- ・薬学部における、米国4大学薬学部からの学生の受入れと、本学学生との交流
- ・薬学部における、タイ王国コンケン大学病院レジデントの受入れと、本学学生との交流

○アジア薬科大学協会薬学部長フォーラムの主催(新規)

アジアの医療の改善のため薬学教育の質の向上に積極的にリーダーシップを発揮すること、ならびにアジアの地域ごとの薬学教育の調和をはかる。(新規)

# 2014(平成 26)年度 慶應義塾における教育(3)

## 特色ある教育プログラムの推進

湘南藤沢キャンパスにおける「未来創造塾」の教育プログラムを含む総合政策学部、環境情報学部「2014 カリキュラム」の運用開始（新規）

医看薬 3 学部連携医学教育の推進による、グループアプローチ実現のための医学教育基盤整備  
理工学研究科、政策・メディア研究科、メディアデザイン研究科と全国 15 大学および産業界の連携による「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」の継続

「福澤諭吉記念文明塾」による先導者の育成

- 薬学部における「新・薬学教育モデル・コアカリキュラム」をベースにした先導的人材養成カリキュラムの構築
- 「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業による、本学薬学研究科、国際医療福祉大学薬学研究科、北里大学薬学研究科の連携に基づく薬学がん専修コースの拡充

## 多様で優秀な人材獲得のための入試制度の改革

法学部における IB 入試の開始（国内の高校・インターナショナルスクールにおいて IB ディプロマを取得した者を対象）（新規）

## 学生支援機能の強化および学習教育環境の整備

大学における奨学金制度の拡充

- ・奨学：経済的困窮者のための「経済支援給費奨学金」の創設（新規）
- ・育英：成績優秀者のための「慶應義塾大学給費奨学金」の見直し
- ・地方重視：「学問のすゝめ奨学金」の見直しと地方への広報活動の強化（新規）
- ・グローバル化：塾生短期留学支援のための「創立 150 年記念奨学金海外学習支援」プログラムならびに優秀な外国人留学生受入れのための「未来先導国際奨学金」の活性化
- ・大規模災害対応：「東日本大震災被災塾生特別奨学金」の継続と将来の災害に対する準備
- ・奨学金原資の拡充：基金室・塾員センターとの協働による寄付金の導入

湘南藤沢中等部・高等部における同窓会寄付を原資とした奨学金制度の創設（新規）

学生総合センターによる学生生活トラブルへの注意喚起・指導および新入生対象の導入ガイダンスの継続的強化

教育施設の整備・充実による学習環境の改善

留学生と日本人学生がともに暮らし学ぶ国際交流宿舎の環境整備と拡充

# 2014(平成26)年度 慶應義塾における研究

## 新たな文明創出を旨とした研究基盤の整備・充実

文部科学省「研究大学強化促進事業」を活用した慶應義塾の研究力強化推進（新規）

- ・研究支援体制の強化（新規）
- ・塾内の融合研究の推進
- ・研究の国際連携強化
- ・次代の高度研究者の育成

## 「研究連携推進本部」体制の強化

研究者支援を充実する機能的データベースの整備とシステム改革

汎用性ある「研究者情報データベース」へ向けたシステム更新（新規）

「大学院博士課程学生の業績・キャリア追跡データベース」の構築（新規）

「研究の国際動向情報データベース」の整備

各種データ解析

外部資金管理システム導入と、研究者のオンサイト確認システムの運用（新規）

## 塾内研究助成制度を活かした研究の活性化支援と融合研究の推進

研究成果報告会等の企画・実施

（対象：次世代研究プロジェクト推進プログラム、戦略的研究基盤形成支援事業、学術研究振興資金など）

## 知的財産権の活用

研究成果から生まれる知的財産権の権利化・活用

知的財産権に基づいた次代のインキュベーション支援体制の再構築、産学官連携推進および国際連携推進

知的財産権の学術としての適正な確保と、共同研究・受託研究やコンソーシアム構築への展開

## 研究・教育活動における利益相反・コンプライアンスへの対応とガバナンスの強化

研究活動における行動規範の策定（新規）

研究倫理教育の推進（新規）

研究費不正使用ならびに研究不正への迅速な対応

研究者と支援者側が双方向でモニタリング・管理する外部資金管理システムの導入（新規）

# 2014(平成 26)年度 慶應義塾における医学・医療(1)

## 世界最先端の基礎臨床一体型医学・医療の実現のための人事および研究・教育・臨床基盤の整備

総合医科学研究棟および予防医学校舎のインフラ整備による研究体制の強化

- ・新ガイドラインに準拠した総合医科学研究棟 8 階の「ヒト試料・臨床情報」拠点整備
- ・JST 再生医療実現拠点ネットワーク・プログラム事業を中心とした再生医学推進のための Cell Processing Center(CPC)<4 基>の設置と運営体制整備
- ・内科学教室老年内科の発展的解消と百寿総合研究センター（仮称）の設置および大学病院との連携による「総合診療」機能の展開
- ・Center of Innovation (COI) 事業による臨床研究情報基盤整備の推進
- ・公的バイオバンクの基準に準拠したバイオバンクの設置
- ・URA の活用による基礎・臨床研究支援・医療情報システムの強化

奨学金および卒前・卒後教育のさらなる充実と改革

- ・平成 27 年度の入試制度変更に伴う新奨学金の設置準備
- ・医学教育統轄センターの機能強化（卒前教育担当教員の任用、医学英語教育の充実）
- ・学部 5 年生以降の「Student doctor 制度」への対応および国際認証獲得のための大学間連携
- ・大学病院の「総合診療」機能と連携した卒後専門医教育コースの設置
- ・内科学教室の卒後教育体制の見直しによる臨床技量の涵養

基礎系・臨床系教室の有給定員などの包括的な見直し・定員ポストの弾力的運用

医療法改定に伴う臨床研究中核病院機能の整備

## 競争的研究資金獲得による教育・研究の充実と医療周辺産業への事業展開

ストレス研究センター・スポーツ医学総合センターによる活動推進（経済産業省）

医福食農連携事業への応募と展開（農林水産省）

私学助成による教育・研究インフラ（教育 IT 化など）の整備（文部科学省）



## 大学病院の収支改善に向けた取り組み

管理会計を活用した診療情報管理および診療科別マネジメントの強化

初診・再診比率の見直しによる初診患者増加と前方連携の強化による入院待機患者増、稼働率向上

診療報酬改定への対応・選定療養費の見直し

新規機器備品の購入選別機能強化とジェネリック薬の導入推進

3号館(南棟)収益管理体制の検証によるさらなる取り組み強化

## 大学病院における人材育成・教育体制の検証と改善

既存のフィールドイノベーション活動や業務改善活動の拡大

多職種による横断的な取り組みを踏まえた人材の育成

専門職の資格取得奨励、マネジメント能力の強化

医療個人情報保護および利益相反防止教育の強化

## 大学病院の組織の検証と改善

既存組織名、機構・会議体、人員体制などの実態把握による整理・統合

患者サポートセンターと患者相談窓口の機能と役割分担の整理

機器・備品などの購入体制の改善

- ・購買委員会による購入決定プロセスの透明化
- ・申請内容審査制の構築と導入後の使用実績のモニタリング

管理体制見直し

- ・SPD材料費管理体制見直し
- ・委託経費の部門管理から総合管理へ
- ・学外賃借物件の空室管理強化

各種臨床検査・治療機器などの共同利用推進

## 大学病院の機能の検証と改善

総合医療情報システムの機能検証

大学病院ホームページの刷新による患者さんの利便性向上と情報発信力強化

患者サービスの見直し、および利用者目線による院内動線の検討

## 大学病院1号館(新病院棟)開設に向けた取り組みと建設資金への積み立て

第1期工事竣工、第2期工事着工に向けた諸準備(仮設建物・スペースマネジメントなど)および再配置(ローリング)計画の確定

創意工夫による各事業費の圧縮と病院収益による建設資金への一部積み立て(10年で60億円)

三四会・塾員・企業などを中心とした募金活動推進による事業資金確保



# 2014(平成 26)年度 教育・研究・医療の環境整備

大学病院 1 号館(新病院棟)建設(第 1 期・2014 年 3 月着工、2015 年 6 月竣工予定)(新規)

湘南藤沢キャンパスにおける未来創造塾建設(2014 年 8 月着工、2015 年 8 月竣工予定)(新規)

普通部本校舎建替工事(2013 年 12 月着工、2015 年 1 月竣工予定)

## メディアセンターの基盤強化

山中資料センター新書庫建設(新規)

安定的な電子資源契約の確保

## 日吉キャンパスの安全性を高める防犯・震災対策の強化

## 男女共同参画環境の整備

## 教育・研究・経営のための情報基盤環境の強化

情報環境への要求の高度化や、来るべき動画配信や大容量データ通信時代を踏まえた、研究・教育における情報利活用のための次世代情報基盤環境のグランドデザインの立案

情報セキュリティ対策の制度面、技術面双方における整備拡充

事務基幹業務用サーバーの機器集約化による TCO 削減と BCP 対策の強化

## 芝共立キャンパスの塾内創薬拠点としての整備(新規)

動物飼育施設の拡充(新規)

創薬のための若手研究者交流拠点の整備(新規)

創薬研究センター設立準備(新規)

# 2014(平成 26)年度 環境問題への取り組み

## 慶應義塾キャンパスのグリーン化の推進

### 省エネルギー対策の継続的实施

- ・震災後より継続している節電対策を引き続き実施
- ・学生への節電に対する啓発活動の実施
- ・持続可能な省エネルギー対策の検討と実施
- ・環境負荷軽減に向けた高効率機器（照明器具・空調機器など）の導入
- ・すでに実施している省エネルギー対策の検証とその改善および新たな対策の検討

### 新たなエネルギー対策の検討

- ・削減効果の大きい設備への更新と再生可能エネルギー設備導入の検討と実施

## 環境教育・環境研究の推進

「持続可能な社会への貢献」の一環として、環境の教育・研究・実践に取り組む

- ・塾内環境教育研究プログラムの実施とその支援を行う

慶應義塾学校林での植林・育林など、環境教育活動を推進する

## 周年事業

理工学部創立 75 年記念事業プログラムの推進

- ・ 国際人材育成基金の設立
- ・ 慶應義塾基礎科学・基盤工学インスティテュートの設立
- ・ 慶應義塾イノベーションファウンダリーの設立

法務研究科（法科大学院）開設 10 年記念事業 記念シンポジウム、海外提携校との国際シンポジウムを開催（新規）

グローバルセキュリティ研究所（G-SEC）創立 10 年 研究所公開、講演会等を開催（新規）

ニューヨーク学院（高等部）創立 25 年記念事業にむけた財政基盤の強化と事業計画の推進（新規）

「慶應義塾 150 年史資料集」第 2 巻（教職員・教育体制関係資料）の刊行（新規）

## 社会貢献・地域連携の推進

先端研究教育連携スクエアの研究活動や、自治体との連携による社会貢献

教育・研究を通しての地域社会との互惠的連携推進

塾内の社会・地域連携活動の情報収集と発信

社会・地域連携の一環となる慶應義塾公式グッズの展開

# 2014(平成 26)年度 法人部門の取り組み

## 財政基盤の確立とさらなる改善

帰属収支差額における基本金組入額合計の 50%を賄うだけの収入超過の達成

- ・安全でリスクの低い資産運用の継続
- ・信濃町キャンパス（大学病院・医学部）における経営改革の継続、新病院棟の建設に向けた財源確保
- ・消費税増税分を吸収しうる予算計画策定のための、事業の着実な見直し
- ・補助金や外部資金の更なる獲得推進と新たな財源確保

寄付金増収の実現

- ・教育・研究・医療 環境整備事業（世界トップレベルの理工学教育研究拠点の形成事業、未来創造塾事業、大学病院新病院棟建設事業）のための募金活動推進
- ・維持会、教育振興資金の勧誘方法の見直し
- ・寄付金税額控除の効果的な PR
- ・海外における募金活動の促進
- ・相続財産からの寄付および遺贈の促進

外部資金の一元管理を視野に入れた事務体制の強化

収支改善に向けた更なる塾内外の情報活用

## 事業計画等にかかる意思決定プロセスの実効化と効率化（新規）

中長期計画（基本方針と大綱を含む）および年度事業重点課題の策定プロセスの再編（新規）

事業計画の個別方針の公表（新規）

## 人材（学生・教職員）育成機能の強化

塾長のイニシアチブによる先導的人材育成に対する戦略的支援（新規）

将来を担う若手教育者・研究者の育成

キャリア形成促進を目的とした教育者・研究者育成支援制度の充実

優れた外国人教育者・研究者の積極的受け入れと、それに向けた人事制度等の環境整備

高度な教育・研究・医療を支える専門性と能力を備えた職員の育成

現場のニーズに対応し業務の専門性を高める研修の実施

リーガル情報の共有を目的とした研修の実施（新規）

グローバル社会における大学の対応力を高めるための職員研修の実施

## 慶應義塾を取り巻く人的ネットワークの強化

交換留学生や別科生等の塾員の枠を越えた人的ネットワークの拡充

慶應義塾との関わりのあった教員、研究者との継続的な関係の維持および深化

「大学」と「一貫教育校」間の卒業生データの連携促進

慶應オンラインを活用した慶應義塾社中への更なる情報発信

各種三田会の一層の活性化のための支援

## 慶應義塾のブランド力向上のための積極的な情報発信

内外への広報活動を一層進める

以上